

新年の挨拶

令和5年度に向けて 与論町教育委員会 教育長 町岡 光弘

謹賀新年。本年が、皆様にとりまして最良の年となりますように御祈念申し上げます。

昨年、与論町の学校教育活動が認められ、いくつかの表彰がありました。まず、公益社団法人食品容器環境美化協会の環境美化教育優良校表彰において、**茶花小学校が最優秀賞（協会会長賞）**を受賞しました。これは、「海ゴミ」や「水」の問題への取組、「サンゴを守る活動」など地域と一体となった幅広い環境美化への活動が認められたものです。また、**与論高等学校がキャリア教育文部科学大臣賞**を受賞しました。これはキャリア教育の充実・発展に尽力し、顕著な功績が認められた学校を顕彰するもので、与論高校が、学校のビジョンとグランドデザインに基づき、地域や専門機関と連携する探究活動や「島のしごとフェア」、小学校のアシスタントティーチャーなどの取組を通して、生徒一人一人が、地域のよりよい未来づくりと自分の在り方・生き方を主体的に考えるキャリア教育としての実践が評価されたものです。

令和4年度は、小・中学校が文部科学省の教育課程特例校として指定され、**海洋教育科「ゆんぬ学」**が始動しました。これは、与論高校とも連携し、地域の人々のサポートを得て、未来を切り拓く児童生徒を、島のよさや課題に気付き、主体的に学び協働で課題解決に向かう、深い学びができる人材として育てる「島だち」の教育であり、大きな期待を寄せています。

令和4年度は、昨年すべての小・中学校に配付されたタブレット端末を活用しての授業も進んでいます。コロナ禍のなかでオンライン授業への試行はもちろん、授業での活用も進みつつあります。「個別最適な学び」のために有効なツールとなるよう、促進を図っていきます。

学校教育施設面においては、小学校全校の全ての普通教室にもエアコンが設置され、夏場の快適な学習が実現できるようになりました。洋式トイレの整備においても大幅な改善が図られました。また、小・中学校に校務支援システムが導入され、これまでの事務文書などの電子化や様式の統一が進みます。また様式の統一や電子化により、情報の引き継ぎが一層確実なものとなっていきます。学校在り方検討委員会も町民のアンケートを集約し、意見のとりまとめを行い12月に町長へ答申されました。今後は、与論町の決定に基づいて、整備へ向けて具体的な方針・計画を作成していくことになります。

最後にお願いを致します。児童生徒の保護者の皆様を含めた、町民の学校教育、社会教育への御理解と御協力についてであります。子供を取り巻く環境改善への学びの機会として様々な研修会、講演会等を期日、時間や場所などを考慮しながら広報・案内し、実施していますが、参加が少ない状況にあります。児童生徒の健やかな成長を期した支援をするため、**時代の変化に対応した各種の学びの場への計画的・積極的な参加**をお願いします。

教育委員会活動報告

定例会 12月6日（火）開催

- 『誠風第306号』の発行について
- 区域外就学について
- 「与論町立学校の業務改善方針」の改定について
- 「特別支援学級及び通級による指導の適切な運用について（通知）」について
- 「与論町特別支援教育連絡協議会設置要綱」の改定について
- 「与論町教育支援委員会規則」の改定について

- 年間行事予定について
- 令和5年度人事異動の方針について

主な行事予定

1月10日	3学期始業式（小・中・高）
1月20日	与論中学校入学説明会
1月31日	第3回ヨロン海洋教育フェア
2月1日	定例教育委員会

第1回「夢語り作文コンクール」最優秀作品の紹介（中学生の部）

今年度実施された「夢語り作文コンクール」の受賞作品の中から、中学生の部の最優秀賞の作品を紹介します。

私の未来 与論中三年 沖 寧音

私は、将来の夢がまだはつきりと決まっていらない。しかし、中学三年生になり進路や将来の夢について考える機会が多くなってきた。進路希望調査カードが配られ、高校はどこへ行くのか、何コースを選ぶのか、将来の夢は何か、正直、私は適当に選んでいた。ただ漠然と私は与論高校に行くんだらうな。文理と総合ってなんだろう。総合でいいか。母が看護師だから、私も医療関係の仕事にしてみよう。というような感じで自分の将来についてそこまで深く考えていなかった。

私は、小さい頃からずっと「医療関係の仕事」というのが頭の中にあり、でもそれは看護師として働く母の存在がそばにあったからであって、本当に私のやりたいことなのか、分からなかった。そこで、私は自分自身が好きなことについて考えてみた。自分の好きなことを活かして、自分が好きなことを仕事にできれば、とても素敵だと思える。まず、すぐに思いついたのは音楽だ。私は学校以外では毎日好きな音楽を聴いたり、気が付けば歌ったりしている。気分が乗ってきいたらつい踊ってしまう。これは父親譲りの性格なのかもしれない。父は私に小さい頃からいろいろな種類の音楽を聴かせてくれた。例えば、ボブ・マーリー、ビートルズ、マイケル・ジャクソンなどの海外の曲や、ブルーハーツ、尾崎豊、サザンオールスターズなど、父好みの日本の曲まで、他にももっと沢山の音楽と触れ合ってきた。父のあの音楽好きは、私にもうつってしまったようだ。音楽というと、エイサーや和太鼓も大好きだ。エイサーは小さな頃から身近にあり、小学校の運動会で披露するためのエイサーの練習は楽しくて仕方なかった。中学三年生になってからゆんぬエイサーに入り、踊ってみるとやっぱ楽しくて、もっと上手になりたいという思いになった。太鼓も昔習っていて、腕をきれいに大きく振り、どのようにしたら格好よく

見えるのか試行錯誤するのも楽しかった。そんな中で、私は自分の持っている知識や技術を人に教える楽しさにも気が付いた。今まで分からずに悩んでいた人が、自分が教えたことによって理解してひらめいて喜んでくれる姿を見ると嬉し。これは勉強の面においても、分らない人に丁寧に分かるまで教えることが自分の中で楽しいと思えた。これを活かせる、自分の性格に合ったことをしたい。できれば音楽に関わる仕事にしたいと思っただから、将来与論に帰ってくるのであればエイサーや和太鼓などの自分の好きなことを与論島の人に教え、受け継いでいくという活動をしてみたい。なと思うようになった。その中で、沢山の人の前で披露するということ楽しさや達成感も伝えたい。中には、お客さんの前で発表するのは嫌いな人も多いだろう。私も前までは緊張し、発表するのは大の苦手だった。しかし、練習を熱心にし、自分に自信を付けることで緊張というより、見てほしいという思いに変わっていき、緊張はそこまでしなくなってきた。自分の努力や頑張りを見てくれた人が大きな拍手をくれたり、褒めてくれたりすると、もちろん嬉しいし、やり切ったという達成感が最高によい気分になる。そんな気持ちで沢山の人の味わってほしい。何でも恥ずかしからず、思い切ったやってみるのがよいのだと学んだ。それは、自分を必ず成長させてくれるし、自信にも繋がってくる。母や学校の先生は、まだ将来の夢ははっきり決めなくてもよいと言ってくださった。だから私は、自分が本当に心からやりたいことを探してきたい。いくらか給料がよくても自分の思うこと。じゃやないと続けられないと思うからだ。私は、仕事の中で何かしら音楽に関わったり、仕事以外のところで音楽に関わったりできたらよいと思う。これからは積み、丁寧に将来の夢を決めていきたい。

帰宅放送内容の紹介

現在、帰宅放送にて使用している曲は、与論の持久会の金子 奈保美（佐藤持久さんの娘）さんが作詞・作曲し、松崎 桃子さんが歌う『ヨロンジマ』です。

『ヨロンジマ』 作詞・作曲：金子 奈保美 歌手：松崎 桃子

- 1 青い空 透きとおる海 やさしい風が 私を包む
美しい ヨロンジマ わがふるさとは ヨロンジマ
- 2 帰るたび なつかしい顔 手をにぎりしめ 迎えてくれる
あたたかい ヨロンジマ わがふるさとは ヨロンジマ
- 3 はなれても いつでも胸に おもいだすのは 誠の教え
忘れない ヨロンジマ わがふるさとは ヨロンジマ

今年度のナレーションは那間校区の大人の方2名と、那間小学校6年生2名です。令和5年4月15日（土）まで放送いたします。

令和4年度第14回与論カルタ大会開催！！

与論町子ども会育成連絡協議会主催による第14回与論カルタ大会が行われました。与論カルタは、遊びながら与論の自然、歴史、文化、習慣を知るとともに、島とユンヌフトゥバ（与論方言）を愛する心を伝えること、また、各子ども会が一堂に集い、楽しく競技を行うとともに、「与論カルタ」を通して郷土与論についての知識と郷土愛を育み青少年の健全育成に資することを目的として、去る12月17日（土）砂美地来館にて実施しました。町内15子ども会の4～6年生が参加し、どの試合も熱戦が繰り広げられました。

中学生が運営委員となって進行や審判等の大会運営を担い、異年齢間の相互学習を通して社会性や協調性を育み、心身ともに逞しく思いやりの心をもったリーダー養成を推進することができました。

- 【優勝】 古里卍リベンジャーズチーム
- 【第2位】 叶子ども会チーム
- 【第3位】 天才だ！！立長1班ワンダフルチーム
- 【敢闘賞】 立長2班子ども会チーム

